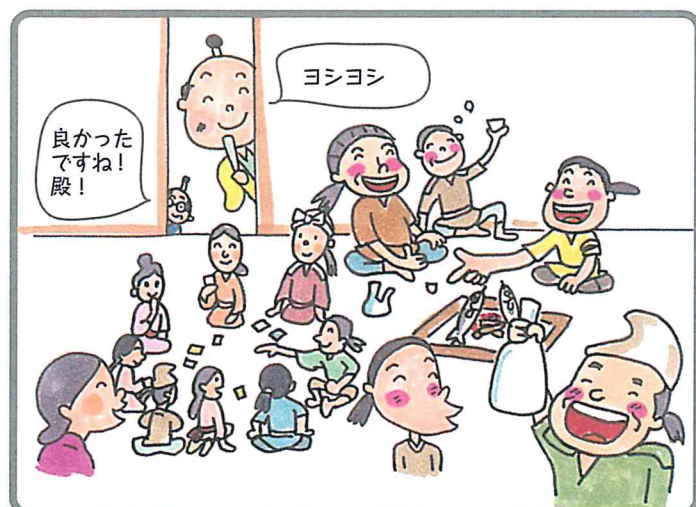




①源頼朝の命令で、人吉球磨に来た相良さん。しかしガンコな民をまとめるにはどうしたものか…。



②作戦その1 まず相良さんは、今までどおりの生活文化をみとめることにしました。



③作戦その2 当時、禁止されていた遊びや贅沢な米の酒をおおめにみてあげました。民の心をガッツリつかんだ相良さん!



④末永く平和な統治が続くように雅な神社やお寺をたてました。民は喜んでその管理を申し出ました。



⑤こうして領主と民が一体となって形づくられた相良文化が根付いたのです。



⑥殿さまがいなくなった今も人吉球磨のひとびとの生活のなかに相良文化が生きています。この「生きた歴史文化」は、今ではここ人吉球磨でしかみることができません。

相良 700 年と称される人吉球磨の歴史。しかしそのかげには相良さんの苦難の道のりがありました…



～相良さんと民衆の
共に歩んだ 700 年～

日本遺産認定



相良 700 年が生んだ保守と進取の文化 ～日本でもっとも豊かな隠れ里 - 人吉球磨～

2015 年人吉球磨地域のストーリーは日本遺産に認定されました。人吉球磨地域は、鎌倉時代から明治維新までの約 700 年間にわたり相良氏が治めた全国でもめずらしい地域です。この「相良 700 年」に受け継がれた文化財や風習、地域の歴史を結びつけて紡がれた物語が、日本の文化・伝統の魅力を伝えるものとして日本遺産に認定されました。



人吉球磨の日本遺産ストーリー

人吉球磨の領主相良氏は、急峻な九州山地に囲まれた地の利を生かして外敵の侵入を拒み、日本史上稀な「相良 700 年」と称される長きにわたる統治を行いました。その中で領主から民衆までが一体となったまちづくりの精神が形成され、社寺や仏像群、神楽等とともに信仰し、楽しみ、守る文化が育まれました。同時に進取の精神をもったたかに外来の文化を吸収し、独自の食文化や遊戯、交通網が整えられました。保守と進取、双方の精神から昇華された文化の証が集中して現存している地域は他になく、日本文化の縮図を今に見ることができる地域であり、作家司馬遼太郎はこの地を「日本でもっとも豊かな隠れ里」と記しています。

※最後にマンガ解説あり

■問い合わせ先

人吉球磨日本遺産活用協議会 (事務局 人吉市教育委員会 歴史遺産課)

〒868-8601 熊本県人吉市麓町 16 番地 (人吉城歴史館内)

TEL 0966-22-2324 FAX 0966-22-2134

email rekishiisan@city.hitoyoshi.lg.jp

ストーリーを構成する文化財群

球磨村	 こうのせすみよしじんじや ①神瀬住吉神社 航海の神として、球磨川を行き来する藩主や船頭たちの信仰を集めてきた神社。	人吉市	 ⑮ウンスンカルタ 江戸時代中期に幕府に禁制され廃れた中で、全国で唯一、人吉藩領のみ遊戯法が継承された。現在では人吉市の民間団体が継承する。
山江村	 しろやまかんのんどう じゅういちめんかんのんぼさつどう ②城山観音堂の十一面観音菩薩像 戦国期の相良当主が造らせた仏像で周辺住民が代々大切にしていた仏像。		 おいかみじんじや ⑭老神神社 領主相良氏の氏神として保護され、周辺住民から「老神さん」として親しまれ信仰を集める神社。
	 たかてらいん ③高寺院 相良氏が滅ぼした矢瀬氏による草創ながら、代々の相良氏が手厚く保護した寺院。		 ひとよしじょうあつ ⑯人吉城跡 相良氏代々の居城。山城の一角を石造りの城へと改変し、球磨川とその支流胸川とを天然の堀とする珍しい「川の城」。
	 やまだだいおうじんじや ④山田大王神社 相良氏が、滅ぼした平川氏の怨霊鎮魂のために建立した神社。		 だいしんじ ⑭大信寺 22代相良頼喬母の菩提寺。この母が帝王切開の末、頼喬を出産しなくなったと伝わり、安産を願う民衆の信仰を集めた。
五木村	 ひがしまたあそじんじや ⑤東俣阿蘇神社 江戸中期、五木村の民衆と結びつきを重視する藩主が、名代による代参を続けた神社。		 がんにょうじ さがらけぼち ⑰願成寺と相良家墓地 相良氏の菩提寺で、江戸時代は郡内の諸寺を束ねた格式高い寺院。裏に代々当主の墓が集められている。
相良村	 あまみやじんじや ⑥雨宮神社 雨乞いに霊験があるとて、領主・民衆から信仰を集めた神社。		 いwayakuma no gajingu ⑱岩屋熊野座神社 領主相良氏による度々の修造が行われた神社。熊野信仰の広がりとともに民衆の信仰を集めた。
	 としまたがわじんじや ⑦十島菅原神社 この地域で最大の天神様として、領主から民衆まで信仰を集めた神社。	あさぎり町	 しょうふくじかんれんぶんかざい ⑲勝福寺関連文化財 勝福寺は相良氏入国以前の在地豪族の菩提寺ながら、相良氏による保護を受け続けた寺院。
	 いざおくまのざじんじや ⑧井沢熊野座神社 16代相良長唯(義滋)により再興された神社。民謡「球磨の六調子」にも歌われるほど、民衆に親しまれた神社。		 すえあそしゃかどう ⑳須恵阿蘇歌迦堂 在地豪族の須恵氏が創建し、相良氏代々が保護した。釈迦三尊像が民衆に大切に守られ続けている。
錦町	 このもとじんぐう ⑨木本神宮 相良氏が滅ぼした平川氏の居城であった岩城跡に、13代相良長毎が市房山神宮と同体の祭神を勧請した神社。		 やまのうえはちまんじんじや ㉑山上八幡神社 戦国時代に滅ぼした上村氏を供養するために、安土桃山時代になり相良氏が建立した神社。
人吉市	 いのくちはちまんじんじや ⑩井口八幡神社 領主相良氏の「戦の神」として代々保護をうけてきた神社。	多良木町	 おうぐうじんじや ㉒王宮神社 多良木地域の鎮守として、相良氏の手厚い保護を受け民衆の信仰を集めた神社。萱葺屋根の楼門は日本最古級。
	 ひとよしおんせん ⑪人吉温泉 戦国時代の12代相良為統が湯治したという記録が残る人吉球磨で最古の温泉があり、民衆も疲れを癒した。		 しょうろんじあみだどう ㉓青蓮寺阿弥陀堂 鎌倉時代以降の多良木相良氏代々の菩提寺で、民衆の信仰を集めた。中世的な景観を残している。
	 あおいあそじんじや まつ ⑫青井阿蘇神社とおくんち祭り 領内の惣鎮守として領主・民衆の信仰を集めた。秋の例大祭は「おくんち祭り」と呼ばれる。		 おおたけいづたく ㉔太田家住宅 江戸時代、藩の許可を受け焼酎作りを行っていた民家。焼酎文化の盛行を示す。

多良木町	 たらみざがらしかんけいしせき ㉕多良木相良氏関係史跡 相良氏が鎌倉時代に下向した後、地域開発の拠点であった館跡と開削した灌漑用水などの史跡。	広域	 ひやくたろうみぞ こうのみぞ ㉖百太郎溝と幸野溝 人吉藩領内の米生産を支えた長大な灌漑用水。長い年月をかけ難工事の末に完成した用水。
	 くめはるよりじんじや ㉗久米治頼神社 当主に反乱を起こし滅ぼされた相良治頼とその母を供養するため、戦国時代に建立された神社。		 ひとよしくま みんやう ㉘人吉球磨の民謡 人吉球磨地域の民衆の生活から生まれ、長く歌われてきた民謡は、人々が集まると誰ともなく自然と唄われ始める。
	 つぎおだいしどう こうぼうだいしどう ㉙槻木御大師堂の弘法大師像 郡内における民衆の大師信仰の広まりを受け、室町時代前期に相良氏を願主として造られたもの。		 しょうちゅうぶか ㉚焼酎墓 酒好きの人間であったことを思わせる戒名や、墓石が「とっくり」のもの、壺が盃であるものなど、焼酎文化を伝える墓。
湯前町	 じょうせんじあみだどう ㉛城泉寺阿弥陀堂 在地豪族久米氏が建立したといわれるが、その後も相良氏や民衆の厚い保護・信仰を受け、堂舎と本尊、石塔群が今に残る。		 くまけん ㉜球磨拳 じゃんけんのルーツとも言われる拳遊び。宴会の余興としては、勝負に負けた方が焼酎を飲むが、わざと負けるものもいたとか。
	 おだいしどう ㉞御大師堂 郡内で領主から民衆まで広まっていた大師信仰を受け、大切に守られてきた大師堂と御大師様。		 こうしんしんこう こうしんどう ㉟庚申信仰と庚申塔 戦国期以降に流行する庚申信仰に関わる庚申塔で、「庚申」を刻んだ文字塔と「青面金剛」などの像等がある。
水上村	 しょうぜんいんかんのんどう ㊱生善院観音堂 人吉藩化け猫騒動にちなむ観音堂。市房山神宮参詣時には藩主が立ち寄った。「狛猫」が参拝客を迎える。		 さがらんじんじゅうさんかんのん ㊲相良三十三観音めぐり 家老井口氏により藩内に三十三観音が選定され、御詠歌が作られて以後、各札所は住民の精神的な拠り所として信仰され続けている。
	 いちふさやまじんぐう ㊳市房山神宮 郡内最高峰の市房山を信仰の対象とした神社。郡鎮守であり、相良氏、民衆も「御嶽(おたけ)さん参り」と呼んで参詣した。		 くまぐら ㊴球磨神楽 青井阿蘇神社おくんち祭りの宵宮奉納を皮切りに郡内 43 神社で奉納されてきた神楽。
広域	 くましゅうちゅう ㊵球磨焼酎 江戸時代では貴重だった米を主原料とした醸造が相良氏によって認められ庶民にも愛飲された酒。450 年以上の歴史を誇る。		 うすだいこおど ㊶臼太鼓踊り 相良氏による武道奨励・士気鼓舞を目的に始められたとされる踊り。領民によって長く伝承され続けている。

